

実施スケジュール（4. 利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化）

年度	短期			中期			長期			KPI				
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年					
① 教育環境自体のIT化	IT利活用に関する実証研究の実施	フューチャースクール推進事業	1人1台の情報端末による教育の全国的な普及・展開と教育ITシステムの標準化【総務省、文科省】				学校教育でのIT利活用による授業革新の実現			・実証研究の成果の全国的な普及状況				
		学びのイノベーション事業												
	教育環境のIT化（最適な教育ITシステムの確立）	学校のIT環境（※）の整備（短期目標の設定とその達成）【総務省、文科省】		学校のIT環境の整備（計画の見直し及び新たな目標の設定とその達成）【総務省、文科省】										・学校のIT環境の整備状況
		「デジタル教科書・教材」の位置づけ・制度に関する課題整理【文科省】	「デジタル教科書・教材」の導入に向けた検討【文科省】	※超高速ブロードバンド接続、情報端末配備、電子黒板、無線LAN環境など										
		クラウドを活用した学校・家庭をシームレスでつなげる教育・学習環境の構築・確立【総務省】		「デジタル教科書・教材」の導入・普及促進に向けた環境整備【総務省、文科省】										
		子どもや教員が利用しやすいデジタル教科書・教材の開発・標準化【総務省、文科省】												
IT利活用による教員の支援及び指導力の向上	教員のIT指導能力の整理、評価方法の検討【文科省】		全ての教員がITを活用できる指導方法の構築【文科省】		教員がITを活用できる環境の整備と指導方法普及への施策の実施【総務省、文科省】				・教員のIT指導能力の状況					
	指導案・教材データベース構築に向けた検討【総務省、文科省】		指導案・教材データベースの設計・開発・運用開始【総務省、文科省】											
② 国民全体のITリテラシーの向上	リテラシー 現状の把握【総務省】								・リテラシー現状の把握及びその改善 ・遠隔教育等の実施状況					
	ITリテラシー教育の充実・改善	子どもたちや保護者の情報リテラシーの育成、情報モラル教育の充実【総務省、文科省】												
		学校・公民館等におけるITリテラシー育成のためのモデルシステムに関する調査研究【総務省、文科省】		各年代へのリテラシー教育の実効性の高いモデルシステムの検討及び継続的な改善【総務省、文科省、経産省、消費者庁】										
		スマートフォンにおける適正な利用者情報の取扱いに係る取り組み推進などの安心安全な利用環境整備【総務省、経産省、消費者庁】												
		遠隔教育、eラーニング等ITの利活用による自由に学べる環境の整備【総務省、文科省】												

実施スケジュール（4. 利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化）

年度	短期			中期		長期			KPI		
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	
(3) 国際的にも通用・リードする実践的な高度なIT人材の育成	人材育成を支える環境の整備	世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境の検討【総務省、文科省、経産省】		世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境の実験的導入・検証【総務省、文科省、経産省】		世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境の整備・先端化【総務省、文科省、経産省】				・実践的な専門教育プログラムの提供数、修了者数	
		実践的IT人材の継続的な育成の仕組み、企業との連携を含めた設計／自走化【総務省、文科省、経産省】			実践的IT人材育成の仕組み、全国的な実践教育ネットワークの継続的運用【総務省、文科省、経産省】						
		全国的な実践教育ネットワークの推進、専門教育プログラム等の構築【文科省、経産省】									
		小・中学校でのプログラミング等のIT教育の充実【総務省、文科省】			IT教育の検証と改善【総務省、文科省】		IT教育の全国展開【総務省、文科省】				
		遠隔教育等の推進に向けた環境整備【文科省】		遠隔教育等の推進【文科省】							
		遠隔教育等IT利活用の課題検証、試行【文科省】									
		企業における人材育成基盤整備【経産省】									
	先端人材の発掘・支援	起業意識を醸成するイベント等の企画・設計【総務省、経産省】		突出したIT人材の発掘、マッチング、継続したイベント等の実施によるハイレベルIT人材の発掘、支援【総務省、経産省】							
		突出したIT人材のコミュニティ構築【総務省、経産省】									
	人材流動化への取組	企業人のIT基礎知識の向上に向けた取組【経産省】									
各分野スキルセットの検討【経産省】		スキル標準の整備・検討【経産省】		CIO補佐官の採用、専門人材の募集や登用条件としての活用【経産省】							
職種転換を含めた就業支援など、ITを活用した人材シフトの支援のための仕組みの課題整理・検討【厚労省、経産省】			ハローワークの機能強化を含めた、人材シフト支援のための仕組みの設計や試行など、就業支援や職種転換のための環境整備【厚労省、経産省】								

4. 利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化

(1) 人材育成・教育

①教育環境自体の IT 化

【目標（マイルストーン含む）】

- ・ 学校の高速度ブロードバンド接続、1人1台の情報端末配備、電子黒板、無線 LAN 環境整備、デジタル教科書・教材の活用等、初等教育段階から教育環境自体の IT 化を進める。
- ・ 教える側の教師の IT 活用指導モデルの構築や IT 活用指導力の向上を図るため、指導案や教材など教師が活用可能なデータベースの構築等を行う。
- ・ 2010 年代中には、すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で教育環境の IT 化を実現するとともに、学校と家庭がシームレスでつながる教育・学習環境を構築する。

【短期（2013 年度～2015 年度）】

○IT 利活用に関する実証研究の実施

- ・ 教育分野における IT 化の全国的な普及・展開に向けて、フューチャースクール推進事業を行い IT 環境の構築・運用の技術的要件やノウハウを整理するとともに、学びのイノベーション事業を実施し、IT 環境を活用した教育の効果や指導方法やコンテンツ開発等を行う。【総務省、文部科学省】
- ・ 2014 年度以降、フューチャースクール推進事業及び学びのイノベーション事業の成果も踏まえつつ、1人1台の情報端末による教育の全国的な普及・展開に向けた方策を整理し、推進するとともに、教育 IT システムの標準化を実施する。【総務省、文部科学省】

○教育環境の IT 化（最適な教育 IT システムの確立）

- ・ 学校の IT 環境の整備（超高速ブロードバンド接続、情報端末配備、電子黒板、無線 LAN 環境など）を行う。【総務省、文部科学省】
- ・ 2014 年度末までに、「デジタル教科書・教材」の位置づけ、制度に関する課題整理を行い、2015 年度から「デジタル教科書・教材」の導入に向けた検討を実施する。【文部科学省】
- ・ 子どもや教員が利用しやすいデジタル教科書・教材の開発及び標準化を実施する。
【総務省、文部科学省】
- ・ 2015 年度末までに、クラウドを活用した学校・家庭をシームレスでつなげる教育・学習環境を構築、確立する。【総務省】

○IT 利活用による教員の指導力の向上

- ・ 教員の IT 指導能力の整理、評価方法の検討を行い、2015 年度から全ての教員が IT を活用できる指導方法を構築する。【文部科学省】
- ・ 指導案・教材データベース構築に向けた検討を行い、2015 年度から指導案・教材データ

ベースを設計・開発し、運用を開始する。【総務省、文部科学省】

【中期（2016年度～2018年度）】

○IT利活用に関する実証研究の実施

- ・ 2014年度以降、フューチャースクール推進事業及び学びのイノベーション事業の成果も踏まえつつ、1人1台の情報端末による教育の全国的な普及・展開に向けた方策を整理し、推進するとともに、教育ITシステムの標準化を実施する。【総務省、文部科学省】

○教育環境のIT化（最適な教育ITシステムの確立）

- ・ 学校のIT環境の整備（超高速ブロードバンド接続、情報端末配備、電子黒板、無線LAN環境など）を行う。【総務省、文部科学省】
- ・ 「デジタル教科書・教材」の導入に向けた検討を行うとともに、「デジタル教科書・教材」の導入・普及促進に向けた環境整備を進める。【文部科学省】
- ・ クラウドを活用した学校・家庭をシームレスでつなげる教育・学習環境を構築・確立する。【総務省】

○IT利活用による教員の指導力の向上

- ・ 教材データベースの設計・運用を行い、IT利活用による指導力の向上につなげるとともに、教員がITを活用できる環境の整備と指導方法普及への施策を実施する。【文部科学省、総務省】

【長期（2019年度～2021年度）】

○教育環境のIT化（最適な教育ITシステムの確立）

- ・ 2010年代中に学校のIT環境（超高速ブロードバンド接続、情報端末配備、電子黒板、無線LAN環境など）を整備する。【総務省、文部科学省】
- ・ 教員がITを活用できる環境の整備と指導方法普及への施策を実施する。【総務省、文部科学省】

②国民全体の IT リテラシーの向上

【目標（マイルストーン含む）】

- ・ 子供から学生、社会人、高齢者に至るまで、そのリテラシーの現状も把握しつつ、年代層別に、ITに関する知識を身につけるための取り組みを推進する。
- ・ 遠隔教育、e-ラーニング等 IT の利活用により、地理的・時間的制約を受けることなく、離島を含め全国津々浦々ですべての国民が、自由に学べる環境を整備する。

【短期（2013 年度～2015 年度）】

○IT リテラシー教育モデルの充実、改善

- ・ 年代層別に、IT リテラシーにおける現状を把握する。【総務省】
- ・ 学校・公民館等における IT リテラシー育成のためのモデルシステムに関する調査研究を実施する。【総務省、文部科学省】
- ・ 子どもたちや保護者の情報リテラシーの育成、情報モラル教育の充実を図る。【文部科学省、総務省】
- ・ スマートフォンにおける適正な利用者情報の取扱いに係る取り組みの推進など安心安全な利用環境整備を進める。【総務省、経済産業省、消費者庁】

【中期（2016 年度～2018 年度）】

○IT リテラシー教育モデルの充実、改善

- ・ 子どもたちや保護者の情報リテラシーの育成、情報モラル教育の充実を図る。【総務省、文部科学省】
- ・ スマートフォンにおける適正な利用者情報の取扱いに係る取組の推進など安心安全な利用環境整備を進める。【総務省、経済産業省、消費者庁】
- ・ 各年代へのリテラシー教育の実効性の高いモデルシステムの検討を行い、継続的な改善を図りつつ、年代層別のリテラシー教育を実施する。【総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁】

【長期（2019 年度～2021 年度）】

○IT リテラシー教育モデルの充実、改善

- ・ 各年代へのリテラシー教育の実効性の高いモデルシステムの検討を行い、継続的な改善を図りつつ、年代層別のリテラシー教育を実施する。【総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁】
- ・ 子どもたちや保護者の情報リテラシーの育成、情報モラル教育の充実を図る。【総務省、文部科学省】

③国際的にも通用・リードする実践的な高度 IT 人材の育成

【目標（マイルストーン含む）】

- ・ 初等・中等教育段階からプログラミング等の IT 教育を推進するとともに、高等教育段階では、産業界と教育現場との連携を強化して、継続性をもって IT 人材を育成していく環境の整備と提供に取り組むとともに、実践的な専門教育プログラム等を構築する。
- ・ 起業意識を醸成するイベントやプロジェクト等を通じて、IT・データを活用した起業や新サービスの創出を担う先端人材の発掘・支援を進める。

【短期（2013 年度～2015 年度）】

○人材育成を支える環境の整備

- ・ 2014 年度末までに世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境について、検討を行い、2015 年度から実験的導入・検証を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】
- ・ 実践的 IT 人材の継続的な育成の仕組み、企業との連携を含めた設計／自走化を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】
- ・ 高度 IT 人材の育成に相応しい小・中学校でのプログラミング等の IT 教育の充実を行う。【総務省、文部科学省】
- ・ 2014 年度末までに、大学等の高等教育委機関における遠隔教育等の推進に向けた環境整備を行い、2015 年度から、遠隔教育等の推進を行う。【文部科学省】
- ・ 遠隔教育等 IT の利活用について調査を実施し、課題検証を行う。さらにその結果に基づく試行など推進に向けた準備を行う。【文部科学省】
- ・ 国家試験活用の促進等の企業における人材育成基盤整備を行う。（IT の技術進歩等を踏まえたスキル標準の整備・改訂等）【経済産業省】
- ・ 全国的な実践教育ネットワークの推進やインターンシップ等を含め、専門教育プログラム等の構築を行う。【文部科学省、経済産業省】

○先端人材の発掘・支援

- ・ 2014 年度末までに、起業意識を醸成するイベント等の企画および試行的実施等を行うとともに、突出した IT 人材のコミュニティ構築を行う。これらの取り組みを踏まえ、2015 年度から、突出した IT 人材の発掘や、マッチング、継続したイベント等の実施によるハイレベル IT 人材の発掘・支援を行う。【総務省、経済産業省】

○人材流動化への取り組み

- ・ 企業人への IT 基礎知識の向上に向けて、IT に関する基礎知識を問う国家試験活用の促進等を行う。併せて、当該試験の対象明確化や内容見直し等、継続的な改善を図る。【経済産業省】
- ・ IT に関する各分野におけるスキルセットの検討を行った上で、スキル標準の整備及び検討を行う。【経済産業省】

- ・ 職種転換を含めた就業支援など、ITを活用した人材シフトの支援のための仕組みの課題整理・検討を行い、その検討を踏まえ、具体的な施策の導入に向けた取り組みに着手する。【厚生労働省、経済産業省】

○国際的な高度 IT 人材活用及び流動化に関する環境整備

- ・ 国際的な高度 IT 人材の活用や流動化を推進するため、アジア各国との国家試験等の相互認証等により、試験合格者の上陸許可時における学歴要件または実務経験要件の緩和を行う。【法務省、経済産業省】

【中期（2016 年度～2018 年度）】

○人材育成を支える環境の整備

- ・ 2016 年度末までに、世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境の実験的導入を行い、課題の抽出や導入効果等の検証を行い、2017 年度からは、世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境について、国内展開に向けた整備等を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】
- ・ 2016 年度末までに、実践的 IT 人材の継続的な育成の仕組み、企業との連携を含めた設計／自走化を行い、2017 年度からは、実践的 IT 人材育成の仕組みの継続的な運用を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】
- ・ 高度 IT 人材育成に相応しい、小・中学校でのプログラミング等の IT 教育の充実、検証及び改善を行う。【総務省、文部科学省】
- ・ 大学等、高等教育機関における遠隔教育等を推進し、普及を図る。【文部科学省】
- ・ 国家試験活用の促進等の企業における人材育成の基盤整備を行う。（IT の技術進歩等を踏まえたスキル標準の整備・改訂等）【経済産業省】
- ・ 2016 年度末までに全国的な実践教育ネットワークの推進やインターンシップ等を含め、専門教育プログラム等の構築を行い、高等教育機関等でのプログラムの活用を促進し、2017 年度からは、全国的な実践教育ネットワーク等の継続的な運用を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】

○先端人材の発掘・支援

- ・ 突出した IT 人材の発掘や、マッチング、継続したイベント等の実施によるハイレベル IT 人材の発掘・支援を行う。【総務省、経済産業省】

○人材流動化への取り組み

- ・ 国家試験活用の促進等の企業人への IT 基礎知識の向上に向けた取り組みを行う。【経済産業省】
- ・ ハローワークの機能強化を含めた、人材シフト支援のための仕組みの設計や試行など、就業支援や職種転換のための環境整備を行う。【厚生労働省、経済産業省】

○国際的な高度 IT 人材のスキル体系の相互連携

- ・ 国際的な高度 IT 人材の活用や流動化を推進するため、IT 人材に関する主要な国際的スキル体系と、我が国のスキル標準との相互参照が可能となるよう、関係機関等と調整を行う。【経済産業省】

【長期（2019 年度～2021 年度）】

○人材育成を支える環境の整備

- ・ 世界に通用する新しいものづくり人材等の育成・環境について、国内展開に向けた整備等を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】
- ・ 小・中学校でのプログラミング等の IT 教育について、全国への展開を行う。
【総務省、文部科学省】
- ・ 国家試験活用の促進等の企業における人材育成の基盤整備を行う。（IT の技術進歩等を踏まえたスキル標準の整備・改訂等）【経済産業省】
- ・ 全国的な実践教育ネットワークの推進や実践的 IT 人材育成の仕組み等について、継続的な運用を行う。【総務省、文部科学省、経済産業省】

○先端人材の発掘・支援

- ・ 突出した IT 人材の発掘や、マッチング、継続したイベント等の実施によるハイレベル IT 人材の発掘・支援を行う。【総務省、経済産業省】

○人材流動化への取り組み

- ・ 国家試験活用の促進等の企業人への IT 基礎知識の向上に向けた取り組みを行うとともに、スキル標準については、CIO 補佐官の採用、専門人材の募集や登用条件としての活用を行う。【経済産業省】
- ・ ハローワークの機能強化を含めた、人材シフト支援のための仕組みの設計や試行など、就業支援や職種転換のための環境整備を行う。【厚生労働省、経済産業省】

○国際的な高度 IT 人材のスキル体系の相互連携

- ・ 国際的な高度 IT 人材の活用や流動化を推進するため、IT 人材に関する主要な国際的スキル体系と、我が国のスキル標準との相互参照が可能となるよう、関係機関等と調整を行う。【経済産業省】